

平成29年 7月 2日

平成29年度第1回 新木「地域会議」議事録

- 1 開催日時 平成29年 7月 2日（日） 9：30～
- 2 開催場所 新木近隣センター 多目的ホール
- 3 議 事 司会進行 新木地域会議事務局長
 - (1) 開会挨拶 事務局長 9：30
 - (2) 我孫子市市民活動支援課 挨拶 9：35
市民生活部 市民活動支援課 課長補佐
地域会議の基本方針について
地域コミュニケーションの充実が目的
 - (4) 意見交換 9：40
 - ア 自治会29年度行事等確認
各自治会の防災日程の確認
実施自治会が少ない現状がある
欠席自治会の確認が必要
 - イ 全体会議
「防災プロジェクト」報告 事務局
第6回プロジェクト議事録 別紙1
 - ・防災PRにいて テーマを作って年3回作成
 - ① 自分からやろう 29年9月
 - ② 共助で今からやろう 30年1月
 - ③ 身を守る全てをやろう 30年5月プロジェクトで、検討実施
 - ・避難訓練の実施時期について
市の避難訓練に合わせる
自治会の計画に合わせる
上記を検討する

報告についての意見交換 特になし

- ウ グループ会議 10 : 00
- ・自己紹介
 - ・防災PR紙について (45分)
 - ・災害時の避難訓練について (45分)
- エ グループ発表 11 : 30
- 各グループ議事録とおり
第5回地域会議の感想 別紙2
(押し付けない・理解を分け合う・聞く耳を持つを基本に発言をいただき {見える化} を図りたいと思います。)
- (5) 質 疑 11 : 50
- ・PR紙の作成、基本的に賛成
 - ・具体的な事例を掲載し、保存してもらえるもの
 - ・避難訓練合同で実施
 - ・各団体の温度差がある
 - ・あなたの家族の再確認
 - ・非常時になった時の問いかけを繰り返す
 - ・実施時期の結論が出ていない、
- (6) 閉 会 11 : 55

4 出席者 別紙参照

5 次回予定日 平成29年10月22日(日) 9 : 30~12 : 00

第 1 グループ議事録

1. 防災 P R 紙について

- ・ A 3 ぐらいの大きさにして保存できるようにする・・・保存してもらえる方法が大事
- ・他の地域の保存方法を聞いてみてはどうか
- ・保存するためにはナンバリングは必要だと思う。
- ・“自分の身は自分で守る”をスタート、“自分から”というメインテーマは中学生でも使っている。子どもでも大人でも必要。
- ・“自分の身は自分で守る”・・・隣近所へ・・・自治会へ・・・公助へ
- ・予防と実際に起きた時・・・例えば、タンスが倒れないようにしているか、チェックできるようなものが必要
- ・安否確認札・・・避難する時に玄関に出しておく
例：“うちの者は避難しました”という札をかけておけば、すぐに他の場所の安否確認に移動できる。
- ・自分で自分の身を守ってからの行動・・・昼と夜の場合を考慮しておく必要
- ・自分の住んでいるところ・・・(例) 新木地区のハザードマップが必要・・・配布

2. 災害時の避難訓練について

- ・家族の中での避難訓練・・・話し合い、避難場所、待つ合わせ場所を決めておく
- ・課題の違い・・・自治会でどこに避難本部を置くのか・・・地域での避難場所
自治会の中のコミュニケーション
- ・災害の種類・・・学校等が開いていなかったら
- ・中学校での避難訓練（年 3 回実施）
 - ① 避難訓練（4 月）
 - ② 校庭まで（いろいろなケースを想定）（2 学期）
 - ③ 不審者・・・場所によって（3 学期）
- ・我孫子特別支援学校・・・職員が 100 名いる・・・手伝えることがあれば声をかけて

○グループ会議を終えて

- ・出席者全員がそれぞれの立場から発言したので話し合いが深まったし、立場の違いを理解できた。
- ・避難訓練実施の大切さ、防災 P R の役割の大切さと課題等、取り組むべき課題の多さ、大きさを改めて実感した。

平成 29 年 7 月 2 日

第 2 グループ議事録

- 1 防災PR紙について ・作成について、グループ全員賛成
 - ・保存してもらえるもの 紙の質・色使い・インパクトのある内容
 - ・見てもらえるもの
 - ・新木地区に適した内容のもの
 - 避難道路
 - 健全者・高齢者・子ども・障害者等の複数の経路を示す
 - 地震の場合・水害等の場合・火事等の場合の複数の経路を示す

- 2 災害時の避難訓練について
 - ・新木地区合同で行う
 - ・来年から実施する 各自治会の年間計画が終わっている
 - ・12月2日の訓練の詳細を確認する

平成 29 年 7 月 2 日

第 3 グループ議事録

防災広報誌に関する主な意見

- ① 市の防災マップを活用し、表紙に載せて危機感を煽るべき。
防災マップは壁に貼りたい。
- ② 普通のコピー用紙だと、イラストなどが透けるので、近隣センターだよりで使っている程度の用紙を使って欲しい。
- ③ 子供も含めて家族皆が興味を持てるよう、クイズ型式にできないか？
ビンゴゲームを取り入れて、防災準備などの諸条件を達成したら貼らせる。
- ④ 用紙を A3 にして二つ折り。
- ⑤ 「新木防災」の発行回数を重ねて実績作りをし、我孫子市による「我孫子防災」の作成に結び付けていくべき。

防災訓練に関する主な意見

- ① 自分の命を守ることが最優先、無理に他人を助けることは、二次災害の恐れがある。
- ② 災害弱者（老人や子供、特に独居老人）の避難を真剣に考えるべき。
- ③ 消防団活動から見ても、地域住民のつながりが薄く感じるのでネットワークの強化が必要。地域会議に消防署員も参加させるべき。
- ④ 避難判断の基準が難しい。避難に際しては、決められた「旗」を掲げてから逃げる。
- ⑤ 体力がある高校生、中学生が戦力となるよう訓練する。
- ⑥ 連絡網の作成が必要。
- ⑦ 参加した者が楽しめるような防災企画が必要。
- ⑧ 避難ルートマップの作製。